

【予告】再生自転車海外譲与活動 20 周年記念フォーラム開催

～ 放置自転車対策から始まった自治体による国際貢献事業 ～

18日に、文京区シビックセンターにて、「再生自転車海外譲与活動 20 周年記念フォーラム」が開催される。

本フォーラムは、1988 年から放置自転車を再生し、開発途上国に譲与している再生自転車海外譲与自治体連絡会(略称:MCCOBA ムコーバ)の活動 20 周年を記念して行われるもの。(参加対象:自治体関係者、企業・団体の社会貢献担当者、報道関係者)

ムコーバは、豊島区が、他の自治体に先駆け、放置自転車対策の一環として、再生自転車をマレーシア等へ譲与したことを契機に、他自治体に呼びかけ、6つの自治体とジョイセフの参加により発足した。20年間の活動は、自治体、NGO、支援団体、民間企業の連携で継続されている。途上国では、同会から寄贈された再生自転車は、「命を救う足」「二輪救急車」「走る回覧板」と呼ばれ感謝されている。

当日は、基調講演や、20年間の活動を発足当初から振り返るパネルディスカッション、再生自転車がどのように途上国で利用されているのかなどの現地報告が行われる。

なお、ムコーバへの新規参加自治体も随時募集している。

日 時	平成20年1月18日(金)午後3時～5時	
会 場	【フォーラム会場】 文京区シビックセンター 26階 スカイホール 【懇親会会場】 同センター 25階 シビックスカイレストラン (文京区春日1-16-21)	
主 催	MCCOBA ムコーバ(再生自転車海外譲与自治体連絡会)	
フォーラムの内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 基調講演「真に持続可能で幸せな社会を作るために～リサイクルを超えて～」 ／枝廣淳子氏 (環境ジャーナリスト、通訳者、翻訳者) ◆ 現地報告「国際的な課題である妊産婦・乳幼児死亡の低減と再生自転車の活躍」 ／財団法人 ジョイセフ ◆ パネルディスカッション「自転車海外譲与活動の第一歩、これからの展望」 ／水島正彦 (豊島区副区長) ※ムコーバ立ち上げに尽力(当時、本区自転車対策課長) 高橋秀行 ((財)ジョイセフ国際協力推進部長) 浜本佳子 (日本郵船株式会社本社広報グループチーム長) ※2000年より同社は、CSRとして再生自転車の海上輸送に協力 ファシリテーター／大葉ナナコ (バースコーディネーター) 	
背 景 補 足 事 項	MCCOBA ムコーバ (再生自転車海外譲与自治体連絡会)：1988年に豊島区が再生自転車を途上国へ譲与したのを契機に、本区の呼びかけにより翌年発足。放置自転車のうち、所有者が引き取らなかったものを再生し、(財)ジョイセフを通して途上国へ譲与。現在、文京区・大田区・世田谷区・豊島区・練馬区・荒川区・武蔵野市・川口市・さいたま市・所沢市・上尾市・静岡市・広島市の13自治体と(財)ジョイセフで構成され、(財)自転車産業振興協会、(財)東京都道路整備保全公社や日本郵船グループなどの団体・企業の協力を得て、活動を行なっている。現在まで、90カ国に、55,000台以上を寄贈。	
写 真 ※写真はメ ールで送り ます。	現地で活躍する自転車 (スリランカ) 	現地で活躍する自転車(タンザニア) 
問 合 せ	ムコーバ事務局/豊島区土木部交通安全課	

財団法人 ジョイセフ (家族計画国際協力財団)

- 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
- TEL 03-3268-5877
- FAX 03-3235-9774

Japanese Organization for International Cooperation in Family Planning (JOICFP)

- Hoken Kaikan Shinkan, 1-10 Ichigaya Tamachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0843 Japan
- TEL (81-3)3268-5877
- FAX (81-3)3235-9774

報道関係者各位

平成 20 年 1 月 10 日

取材のお願い

放置自転車を再生し、5万5千台を90カ国の途上国に贈る 再生自転車海外譲与活動20周年記念フォーラムを開催

再生自転車海外譲与自治体連絡会 (略称: MCCOBA、ムコーバ) は 1988 年から今までに 90 カ国の開発途上国に 55,000 台以上の再生自転車を寄贈しました。途上国では再生自転車を「命を救う足」「二輪救急車」「走る回覧板」と呼び感謝しています。ムコーバの 20 年間の活動は、自治体、NGO、支援団体、民間企業の連携で継続しています。20 周年記念フォーラムは以下の概要で開催します。

日時: 2008年1月18日 (金) 15:00-17:00

フォーラム会場: 文京区シビックセンター 26F スカイホール

懇親会会場: 文京区シビックセンター 25F シビックスカイレストラン

主催: ムコーバ (再生自転車海外譲与自治体連絡会)

基調講演には、枝廣淳子氏 (環境ジャーナリスト、通訳者、翻訳者) が「真に持続可能で幸せな社会を作るために〜リサイクルを超えて〜」のテーマで講演する。続いて、ジョイセフより「国際的な課題である妊産婦・乳幼児死亡の低減と再生自転車の活躍」の現地報告。

パネルディスカッション「自転車海外譲与活動の第一歩、これからの展望」では、20 年前にムコーバを立ち上げた水島正彦・豊島区副区長 (当時: 豊島区自転車対策課長) とジョイセフの高橋秀行・国際協力推進部長が直面した困難と経験を振り返る。浜本佳子・日本郵船 (株) 本社広報チーム長が参加。2000 年より日本郵船グループは CSR として再生自転車の無償海上輸送に協力。大葉ナナコ氏 (バースコーディネーター) がファシリテーターを行う。

【お問合せ】

ムコーバ (再生自転車海外譲与自治体連絡会) は東京都文京区・大田区・世田谷区・豊島区・練馬区・荒川区・武蔵野市、埼玉県川口市・さいたま市・所沢市・上尾市、静岡市、広島市の 13 の自治体とジョイセフで構成されています。

再生自転車海外譲与自治体連絡会 事務局
東京都豊島区土木部交通安全課

(担当: 高橋・佐野)

Tel: 03-3981-4847 FAX 03-3981-4844

財団法人ジョイセフ 国際協力推進グループ
(担当: 簡野・甲斐)

TEL: 03-3268-5877 FAX: 03-3235-9774

E-mail: resource@joicfp.or.jp

放置自転車対策から始まった自治体による国際貢献事業

再生自転車海外譲与

参加のお誘い!

《90カ国へ5万3千台譲与》

私たち『再生自転車海外譲与自治体連絡会』は、昭和63年以来、放置自転車として撤去した自転車のうち、所有者が引き取らなかったものを整備して、アジア、アフリカなどの開発途上国の保健医療機関やNGOに贈り続けています。

平成19年3月末現在、贈呈した

放置自転車という社会問題を、国際貢献というポジティブな事業として活動に参加してみませんか？
関心のある方、全国の放置自転車担当者からの連絡をお待ちしています。

《活躍する再生自転車》

わが国の放置自転車は、「駅周辺の厄介もの」「使い捨て時代が生んだ、日本の恥」とまで言われています。

その放置自転車が、遠く海を渡った国では、無医村へ向かう医師や看護師の交通手段だけでなく、急病人を運ぶ「救急車」として活躍したり、情報通信網の整備されていない僻地の「走る回覧版」として、人々の暮らしに不可欠な存在として大切にされています。

今日も、アフリカの草原を、熱帯雨林の小路を、海を渡った再生自転車が、元気に走っています。



妊産婦を巡回して、安全な出産を指導するミャンマーの看護師

【再生自転車海外譲与自治体連絡会】英文による団体表記「MCCOBA(ムコーバ)」

=Municipal Coordinating Committee Overseas Bicycle Assistance

文京区、大田区、世田谷区、豊島区、練馬区、荒川区、武蔵野市(以上、東京都)

川口市、さいたま市、所沢市、上尾市(以上、埼玉県)

静岡市(静岡県)、広島市(広島県)、財団法人ジョイセフ

昭和63年(1988年)、放置自転車対策に取り組む豊島区は、所有者が引き取らない放置自転車 375台を再生してマレーシア、ザンビアなど海外の途上国で、医療・保健活動に取り組むNGOに贈呈しました。これらの国々では、鉄道やバスなど公共交通機関が未整備の地域もあり、またそのような地域では自動車や、燃料となるガソリンの入手も容易ではありません。日本では社会問題になっている放置自転車が、途上国で暮らす人々の、医療、保健、教育、福祉の向上に大きく貢献したのです。

これを契機に平成元年(1989年)には、豊島区をはじめとする6自治体と、財団法人 ジョイセフ(JOICFP 家族計画国際協力財団)をもって再生自転車海外譲与自治体連絡会「ムコーバ」が発足しました。複数の自治体と財団法人ジョイセフの協働事業により、平成19年3月末現在贈呈した国は90カ国、自転車の台数は53,175台に達しています。

1. 目的

放置自転車対策の結果、発生する引取り手のない良質車の有効利用対策として、これらの良質車をさらに点検整備し、再生自転車として、アジア、アフリカ、中南米等の開発途上国に無償譲与し、看護師、保健師等の交通手段として利用することにより、当該国、地域での福祉の向上・増進を希求し、国際協力に寄与することを目的とする。

2. 歴史

昭和63年7月 豊島区がマレーシア、フィリピン、ザンビアに計375台を贈る

平成元年10月 豊島区、文京区、大田区、世田谷区、川口市、大宮市の6自治体とジョイセフ(家族計画国際協力財団)をもって発足

平成3年7月 英文による団体表記を「ムコーバ(MCCOBA)」とする

= Municipal Coordinating Committee Overseas Bicycle Assistance

平成5年4月 第1回総会(会長職を設け、会長は自治体の首長とする)

平成19年5月 第15回総会

*総会年1回、幹事会3回実施

3. 役員

会長	豊島区長	高野之夫
副会長	さいたま市長	相川宗一
	静岡市長	小嶋善吉

輸出する再生自転車に貼り付けるステッカー

<協力団体・協力企業>

(財)自転車産業振興協会 (財)東京都道路整備保全公社 日本郵船株式会社(NYK-LINE)

問合せ先 再生自転車海外譲与自治体連絡会 事務局

東京都豊島区東池袋1-18-1 豊島区土木部交通安全課 内 電話03-3981-4847